

デバッグ対応 Stable 版ダウンロード先

<http://forum.mruby.org>

<https://www.github.com/mruby-Forum/mruby>

作成 : NPO 軽量 Ruby フォーラム

mruby デバッガ (mrdb) リファレンスマニュアル

■ mruby-1.1.0 の入手とビルド

Linux 環境で /home/user に mruby をセットアップする場合の手順を示します。

```
$ cd /home/user
$ git clone https://github.com/mruby-Forum/mruby.git
$ cd mruby$ git checkout mruby-1.1.0
$ make
```

注意mrubyをビルドするためには以下が必要となります。
- Ruby (本家Ruby) - GNU bison - Cコンパイラ (gcc等)

■ パス追加

mrubyデバッガが含まれているmruby/binディレクトリをパスを追加します。

```
$ echo "export PATH=$PATH:/user/mruby/bin" >> ~/.bashrc
$ source ~/.bashrc
```

■ mrdbの起動

mrubyデバッガを起動するためにはデバッグ対象のファイルを指定します。`

```
`$ mrdb [option] file
```

オプション

```
-b          mrubyバイナリファイル(.mrb)をデバッグする|
-d          ソースディレクトリ格納ディレクトリを指定する|
--version   バージョン情報を表示する|
--copyright 著作権情報を表示する|
```

■ 起動例

```
$ mrdb sample.rb          <-- mrubyスクリプト(.rb)を指定してmrdbを起動
$ mrdb -b sample.mrb      <-- mrubyバイナリ(.mrb)を指定してmrdbを起動
$ mrdb -d ./src -b sample.mrb <-- ソースコードの格納先を指定してmrdbを起動
```

■ デバッガコマンド

コマンド	説明	コマンド	説明
r[un]	プログラムの実行	i[nfo] b[reakpoints]	ブレイクポイント一覧表示
s[tep]	プログラムのステップ実行	p[rint]	式の評価
c[ontinue]	プログラムの継続実行	ev[al]	式の評価
b[reak]	ブレイクポイントの設定	l[ist]	ソースコードの表示
disable	ブレイクポイントの無効化	h[elp]	ヘルプ表示
d[ele]te	ブレイクポイントの削除	q[uit]	mruby デバッガの終了
en[able]	ブレイクポイントの有効化		